文字表示式交通誘導棒取扱説明書

2011.07.14

バーサライタ式誘導棒をご採用頂きありがとうございます。
最初に本書をお読み頂き正しくお使い頂きます様お願いいたします。

特　徴

左右に振るだけで誰でも簡単に『とまれ』の文字を空間に表示することができ、スイッチ切替により通常の全面点滅式の誘導棒としても使用できます。

使用方法

準　備

単2型電池2本を＋を上にして電池ホルダーに入れ、本体にしっかりと取付けます。
電池ホルダーの締め付けが弱いと振ったときに瞬間的に接触不良を起こし、初期状態に戻る事があるのでしっかりと締め付けてください。

スイッチ操作

1つのボタンスイッチ全ての操作を行い、操作方法は下記のとおりです。

状　態	短く1回押す	5秒間以上押す
電源ＯＦＦ時	全面点滅の状態でＯＮする	全面点滅の状態でＯＮする
全面点滅時	文字表示状態に切り替わる	電源がＯＦＦする
文字表示時	全面点滅状態に切り替わる	電源がＯＦＦする

『とまれ』を表示させる

1　ボタンスイッチで文字表示の状態に切替えます。
2　持ち方はボタンの向きを手前にして持つと向こう側（見る人側）にＬＥＤ発光面が向きます。
3　左右に９０～１２０°くらいの範囲で1往復で2秒前後の感覚で振ります。
4　ＬＥＤ発光面（向こう側）に『とまれ』の文字が表示されます。

文字をきれいに表示させるには

本製品で正しく『とまれ』を表示させるためには本機の原理や特徴を十分にご理解頂き正しくお使いください。

表示原理

本機の原理は見ている人から見て左から右へ移動しながらＬＥＤが順次発光することで人の目の残像効果により『とまれ』の文字として見えます。
このように表示させるためには最初の1往復の時間を計測し、その結果を計算して次の1往復の割り振りタイミングを決めて順次表示させます。
つまり現在表示しているタイミングは前回振った時の計測データを元に計算されたもので、このように1回振るたびにデータを学習して次々に反映させて表示します。

自動電源ＯＦＦ機能

本体に内蔵されているセンサーが5分以上動作を感知しない場合と、ボタン操作が5分以上無い場合には自動的に電源を切る機能を持っています。
再度電源を入れる場合はボタンを1回短く押すと全面点灯の状態でＯＮします。
（注意）静かに本機を動かした場合はセンサーが動きを感知しない事があり、時間が経過して自動的に電源がＯＦＦする場合があります。

振り方のコツ

極端に短い時間、長い時間、大きい角度、小さい角度、ムラのある振り方などをした場合は、表示される文字が変形したり全く表示されないこともあります。
したがって振り方（振幅、時間）を均一に振ることで安定して文字を表示させることが出来ます。
振るときに左右の折り返し点で『カチッ』と言う小さい音がしますが、このタイミングを計測、表示のスタート点として動作を行います。
左右の折り返し点で**毎回必ず『カチッ、カチッ』と聞こえるように振る**ことが必要で、このためには**ゆっくり折り返すのではなく、急に反転させる**ような振り方をすると先端のセンサーに逆方向の加速度が加わり、センサーが反応して音が出やすくなります。
きれいに表示させるコツは**安定した周期と時間でメリハリのある振り方**をすることが重要です。
できるだけ暗いところで鏡やガラスに映して練習をし、コツをつかむことで誰でも簡単にきれいな文字を表示できます。

注意事項

振り始めて最初の1～2往復は振幅時間を計測するために正しい文字が表示されず2～3往復目から表示しますが異常ではありません。
振り始めに鏡文字のように反転した文字を表示することがありますが、振り方が安定しないために発生するもので故障ではありません。
誘導棒を左右に振るとカチッ、カチッと小さな音がしますが、これはセンサーが動作している音で故障ではありません。
長時間使用しないときは液漏れなど故障の原因となりますので電池をはずして保管してください。

株式会社　アイテックス